

参考資料②

池田市水道事業経営分析（現状分析）

目次

比較団体の選定	3
投資に関する経営指標分析	5
財政に関する経営指標分析	11
まとめ	18
その他の指標	23

比較団体の選定

経営分析における比較団体は下記のとおりです

比較団体

選定の観点	選定基準
給水人口の類似性	現在給水人口が7万5千人以上11万5千人未満の団体(H29経営戦略と同様)
水源の類似性	ダム及び表流水を水源とする団体(H29経営戦略と同様)

【選定団体(括弧内は能力ベースの水源の構成割合)】

北海道 室蘭市(自己水:100%、受水0%)
群馬県 桐生市(自己水:95.0%、受水5.0%)
新潟県 柏崎市(自己水:100%、受水0%)
三重県 名張市(自己水:100%、受水0%)
滋賀県 彦根市(自己水:100%、受水0%)
京都府 舞鶴市(自己水:100%、受水0%)
山口県 岩国市(自己水:99.7%、受水0.3%)
大分県 別府市(自己水:100%、受水0%)

参考:池田市(自己水:84.0%、受水16.0%)

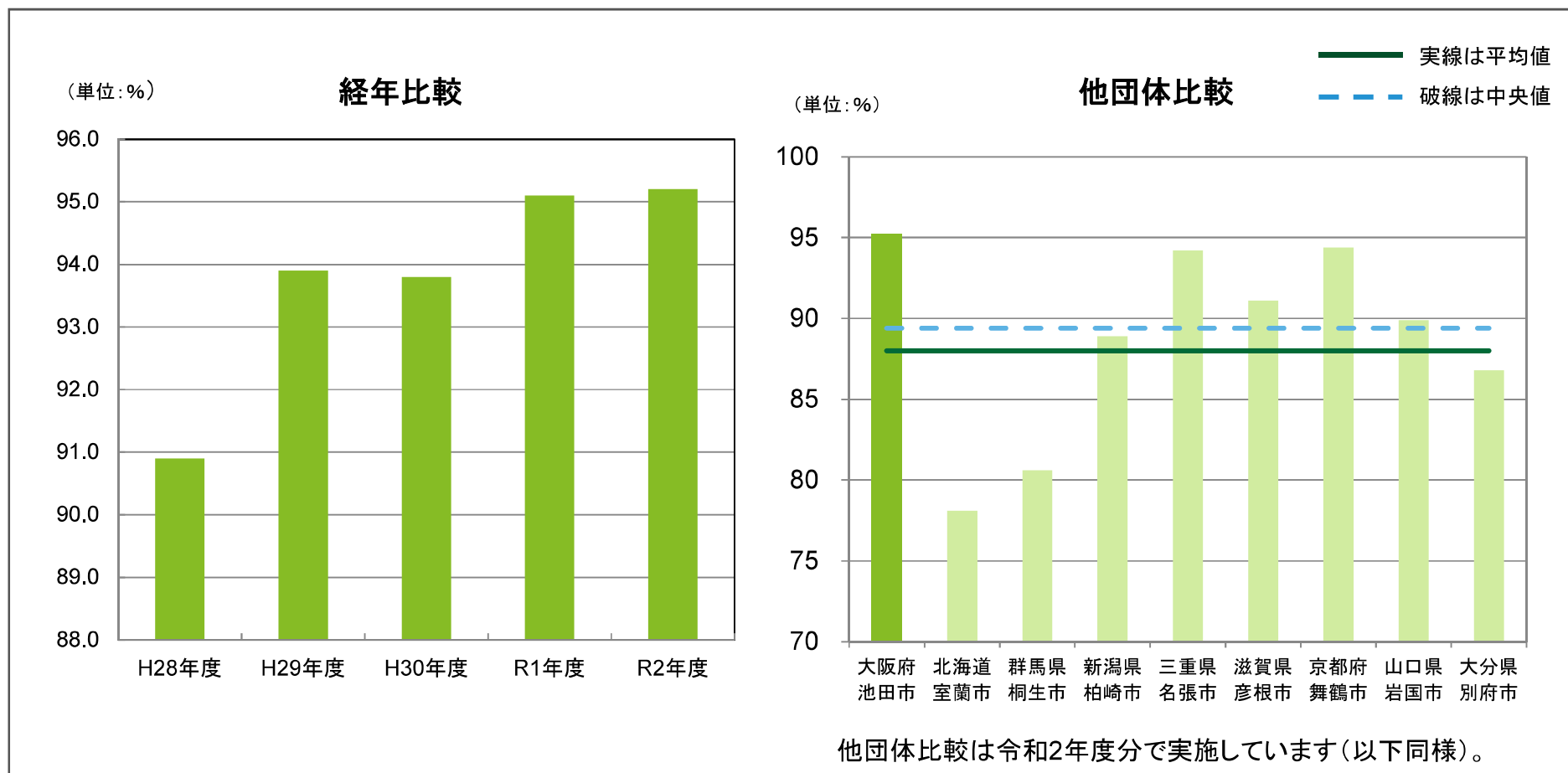
※水源の構成割合は公営企業年鑑(令和2年度)を参考に算定

投資に関する経営指標分析

有収率は95%程度で、比較団体よりも高い水準です

有収率の推移

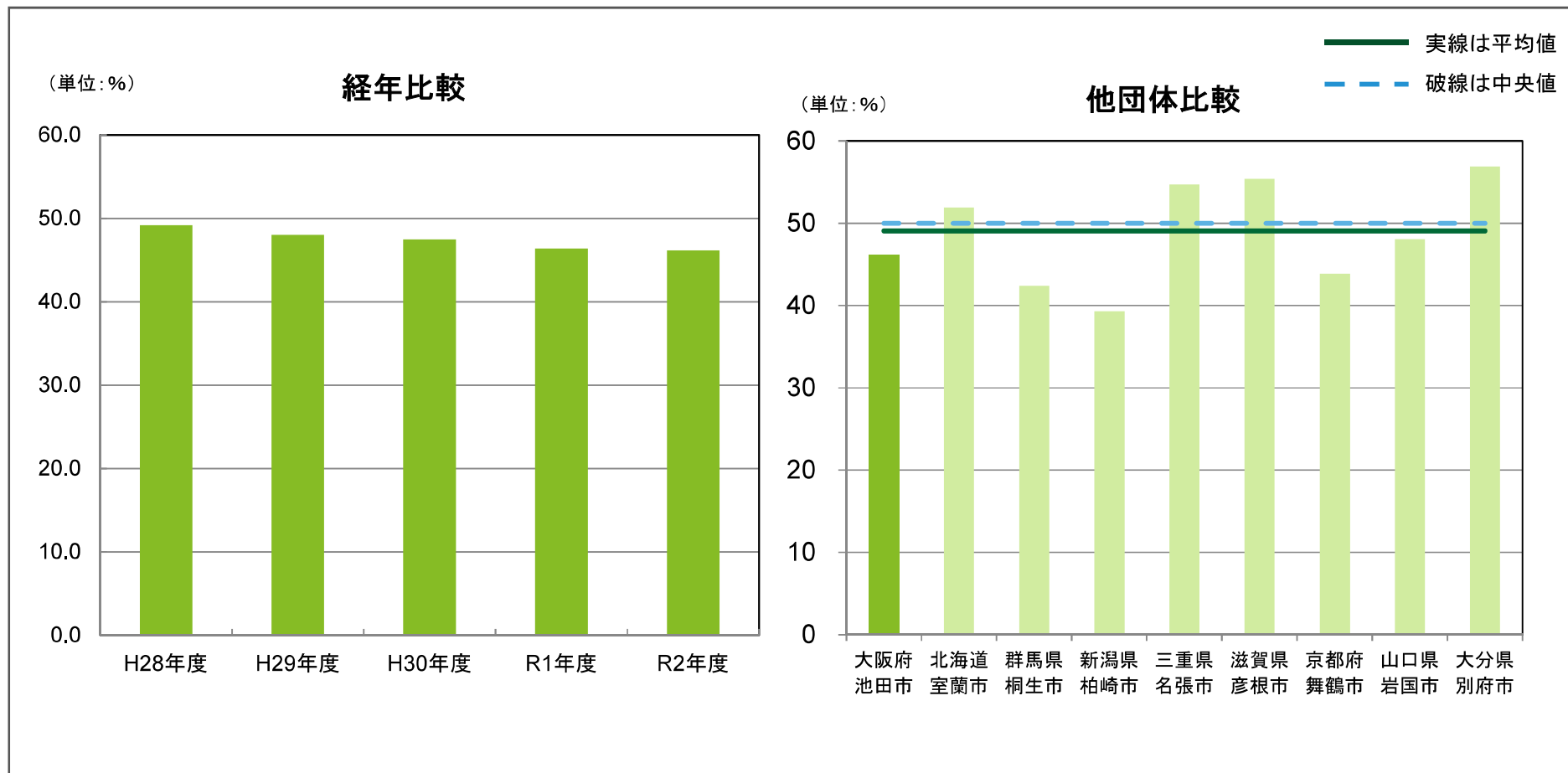
有収率は施設の稼動が収益につながっているかを判断する指標です。



施設利用率は50%弱で推移しており、比較団体とほぼ同水準です

施設利用率の推移

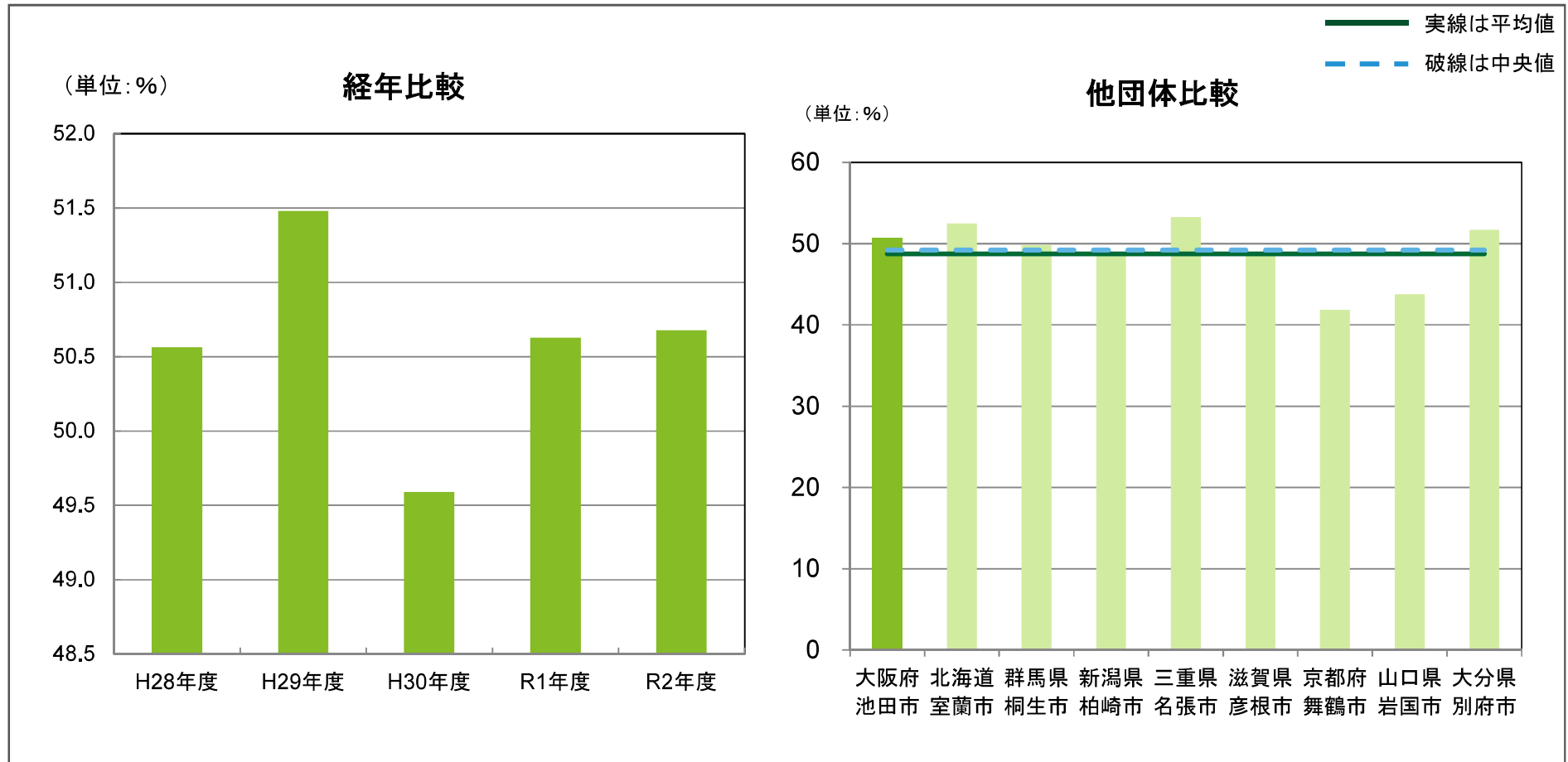
施設利用率は一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。



有形固定資産減価償却率は50%前後で推移しており、 比較団体とほぼ同水準です

有形固定資産減価償却率の推移

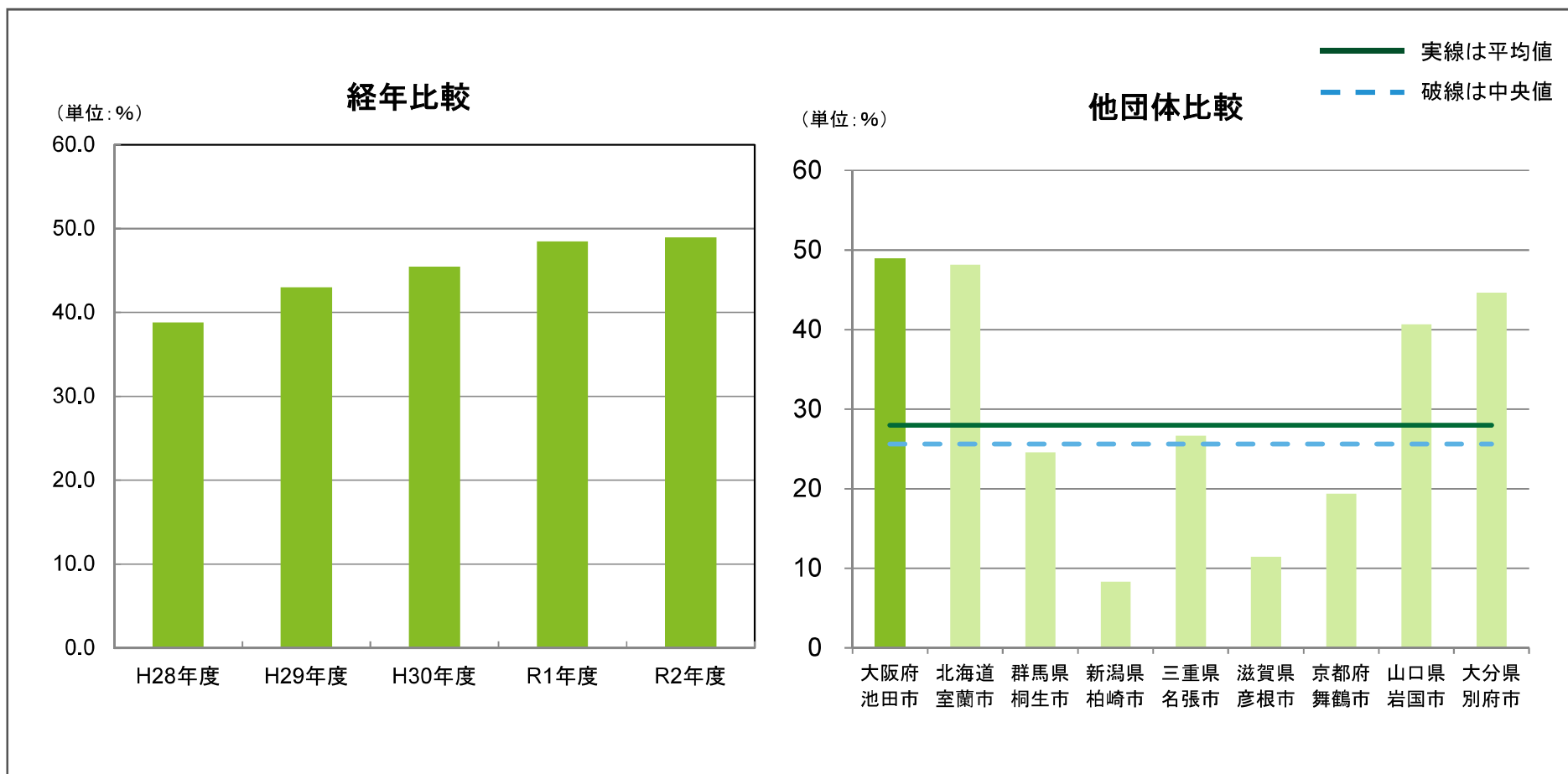
有形固定資産減価償却率は有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で資産の老朽化度合いを示しています。



管路経年化率は上昇傾向で、比較団体よりも高い水準です

管路経年化率の推移

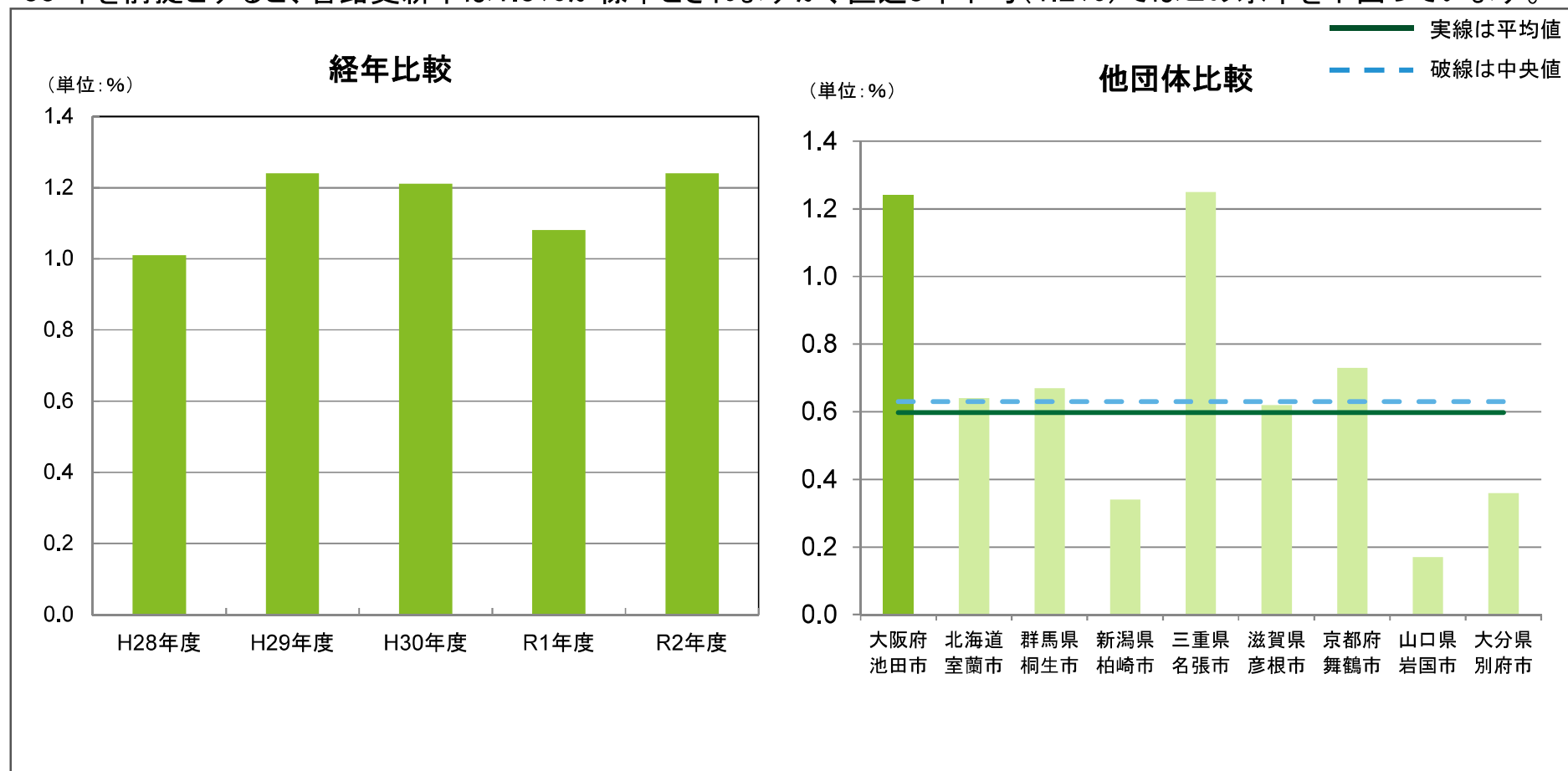
管路経年化率は法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標で、管路の老朽化度合いを示しています。



管路更新率は直近5年平均では1.2%であり、 全資産の更新におよそ83年要するペースです

管路更新率の推移

管路更新率は管路総延長のうち、当該年度に更新された管路延長の割合を示す指標で、管路の更新投資の実施度合いを示しています。管路の耐用年数を法定耐用年数である40年を前提とすると、管路更新率が2.5%以上の場合に管路の老朽化の状況に見合った投資が十分に行われているといえます。一方、管路の耐用年数を法定耐用年数の1.5倍である60年を前提とすると、管路更新率は1.6%が標準とされますが、直近5年平均(1.2%)ではこの水準を下回っています。

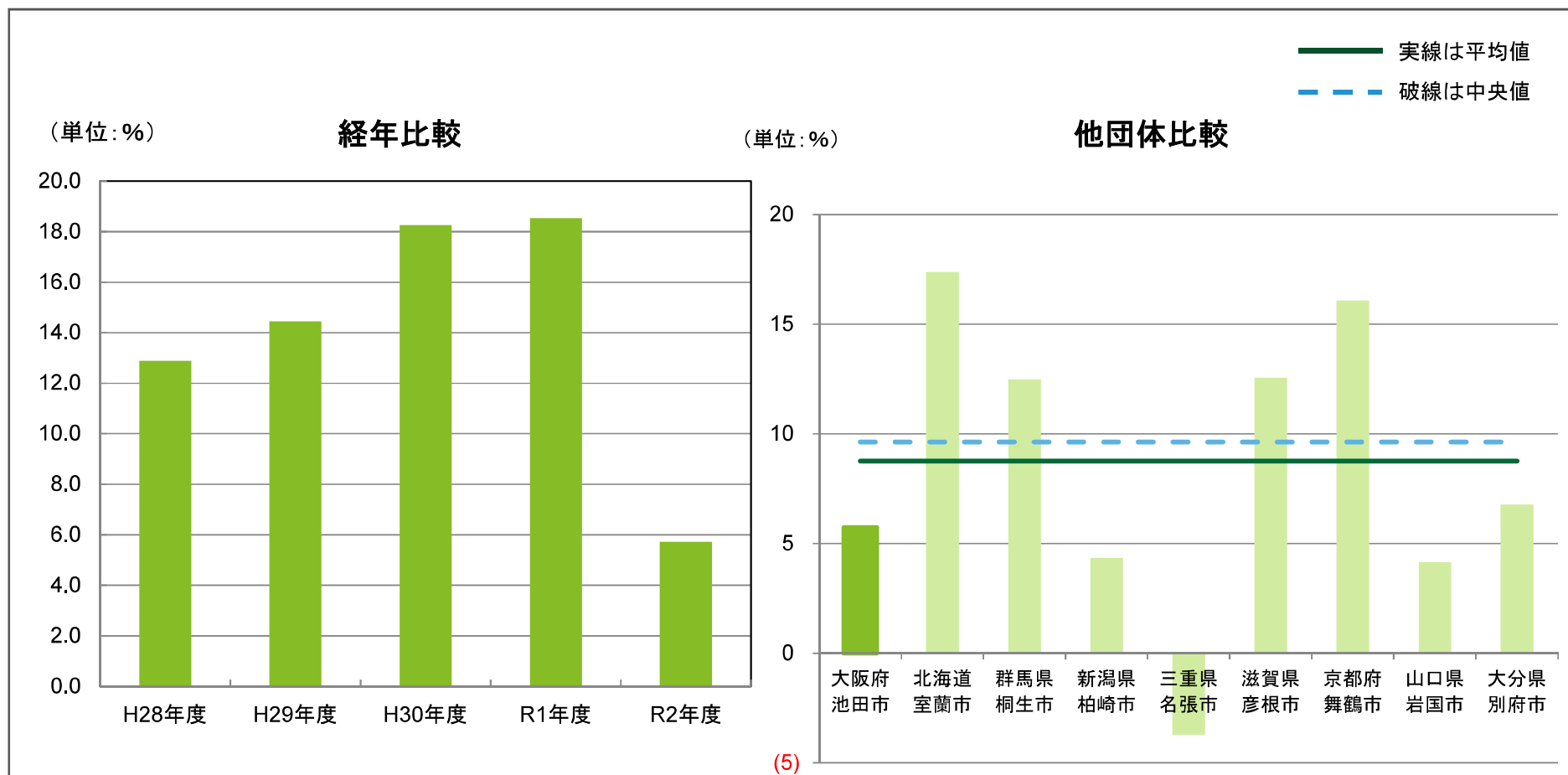


財政に関する経営指標分析

営業収益対経常利益率は上昇傾向にありましたが、 大口利用者の使用量減少等の影響で、令和2年度は大きく減少しました

営業収益対経常利益率の推移

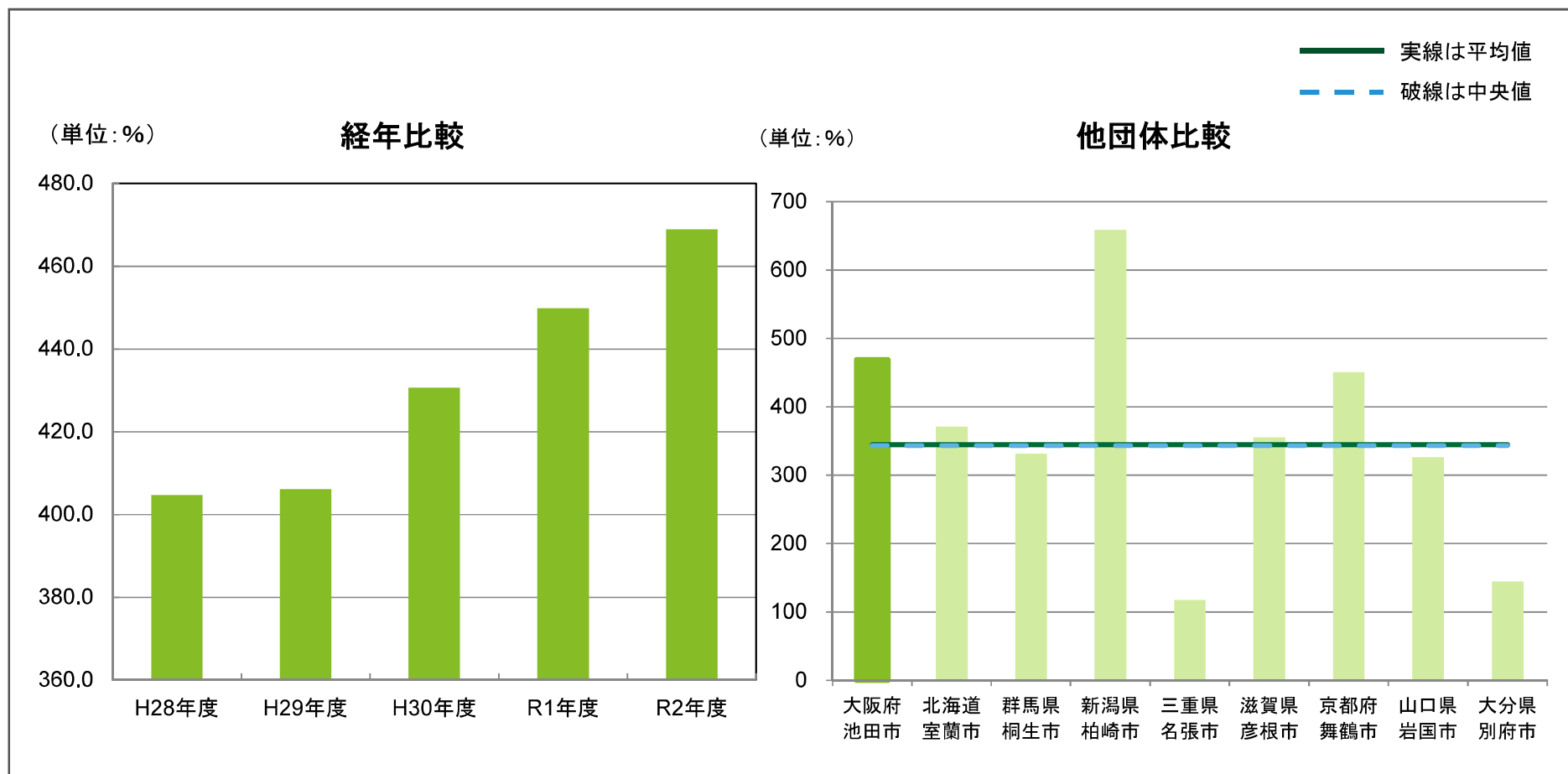
営業収益対経常利益率は営業収益に対する経常利益の割合を示す指標で、水道事業の採算性を示しています。



事業収益対企業債残高比率は上昇傾向にあり、 比較団体より高い水準にあります

事業収益対企業債残高比率の推移

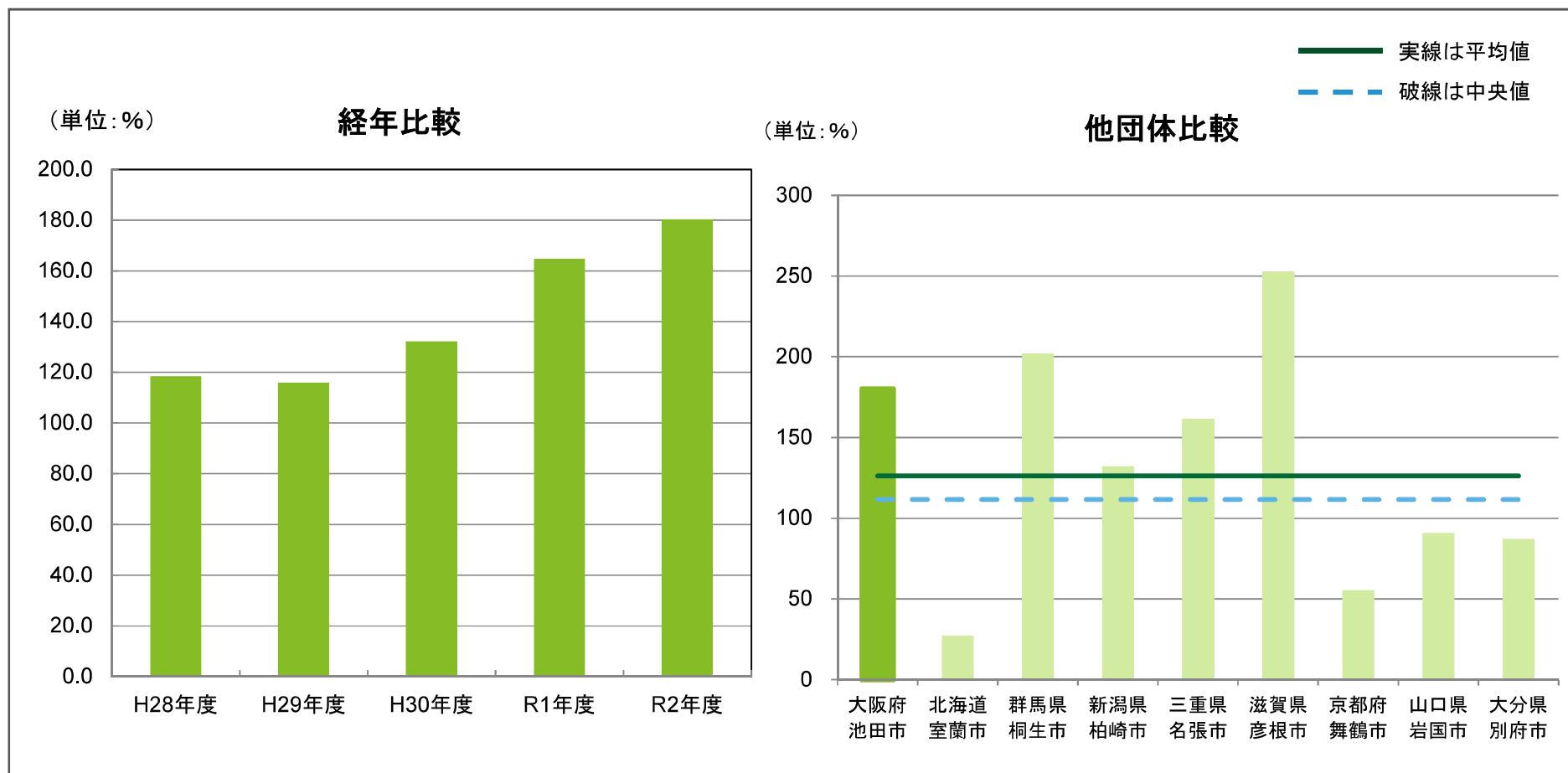
事業収益対企業債残高比率は、事業収益(=営業収益-受託工事収益+他会計補助金(収益的収入))に対する企業債残高の割合を示す指標であり、企業債が収入規模に見合ったものであるかを測ります。



事業収益対資金残高比率は上昇傾向にあり、 比較団体より高い水準にあります

事業収益対資金残高比率の推移

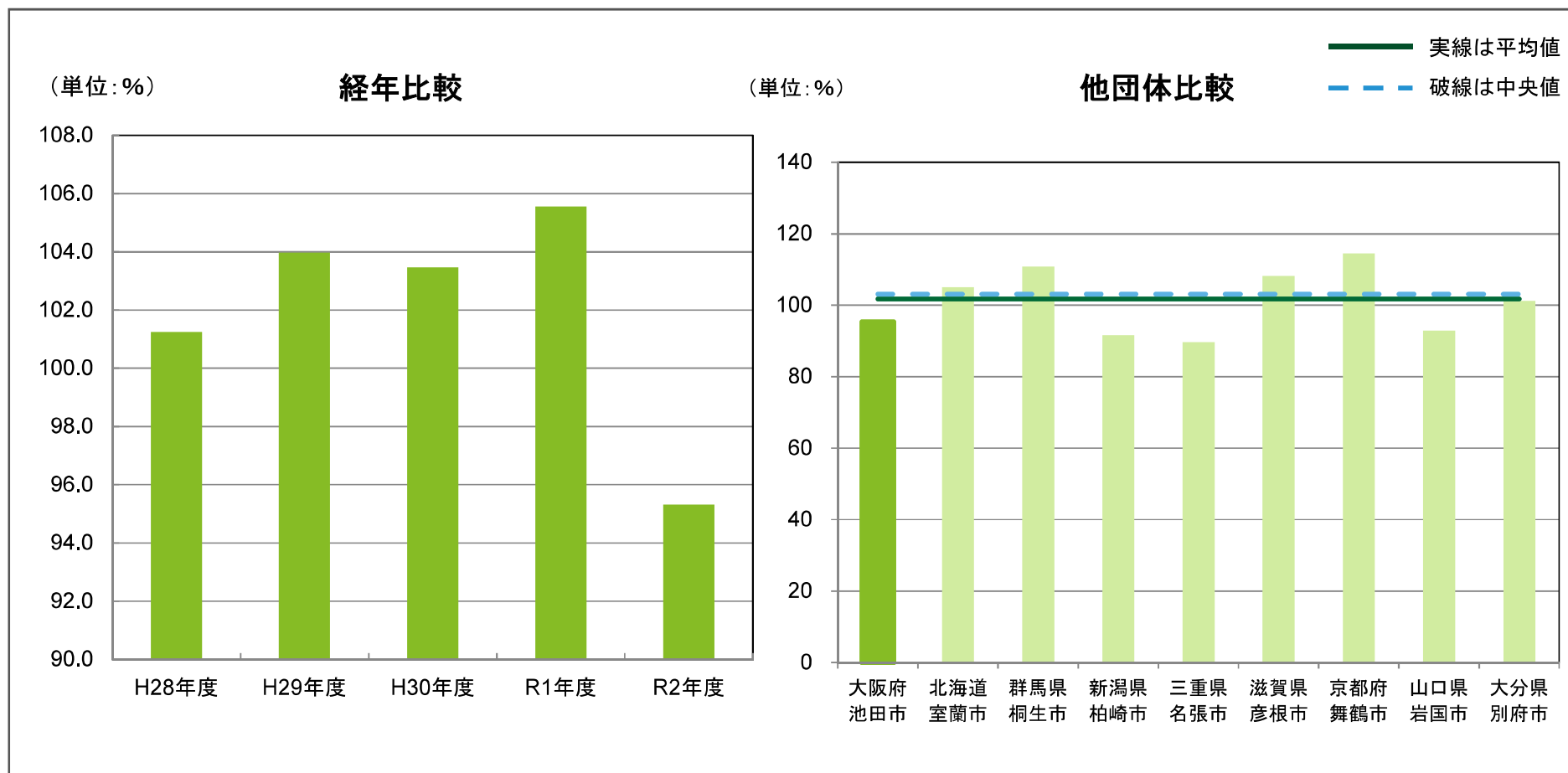
事業収益対資金残高比率は、事業収益(=営業収益-受託工事収益+他会計補助金(収益的収入))に対する資金残高の割合を示す指標であり、業務運営上必要な資金を確保できているかを測ります。



料金回収率は比較団体とほぼ同水準にあります

料金回収率の推移

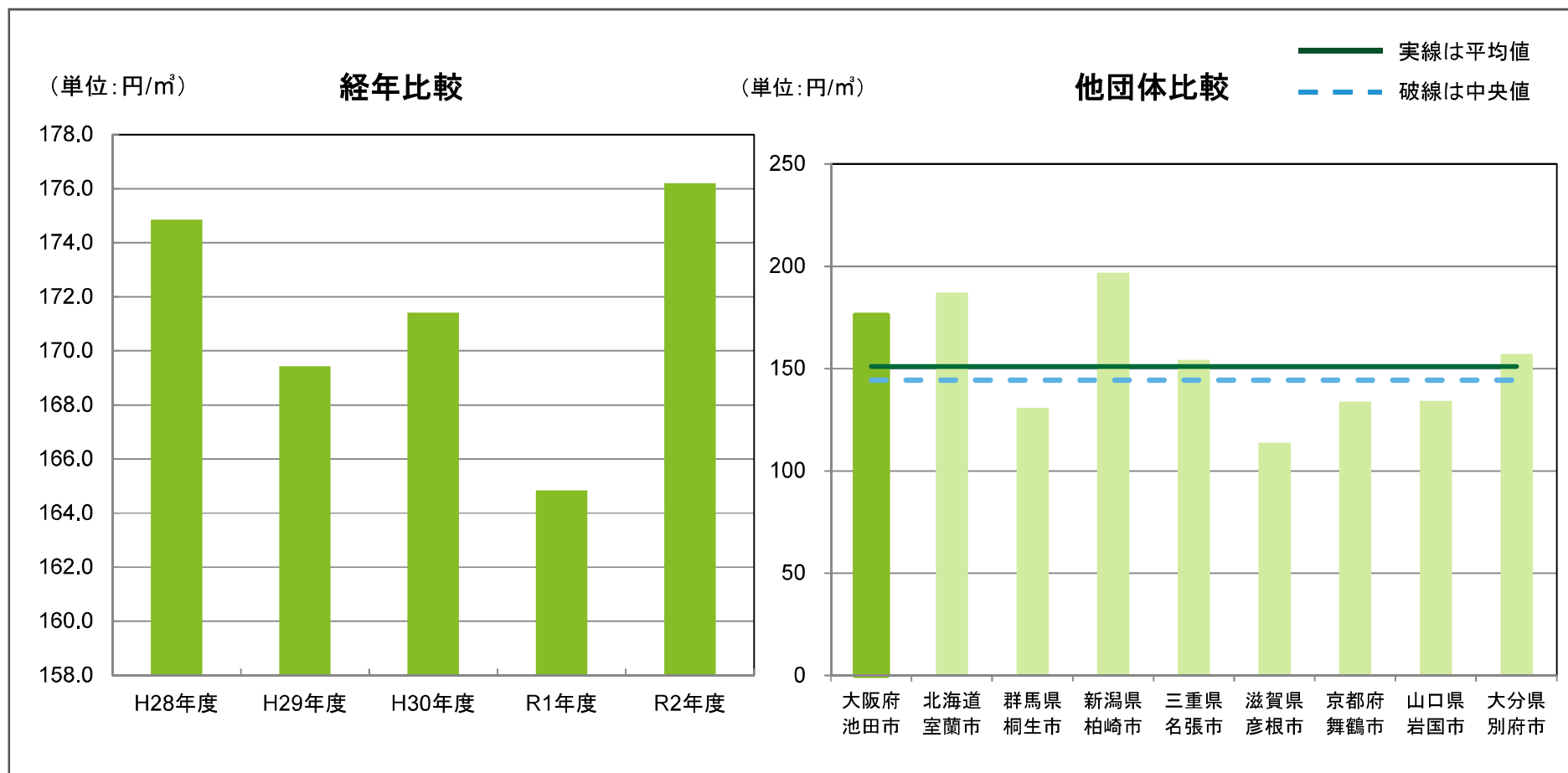
料金回収率は給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能な指標です。



給水原価は概ね減少傾向にあります、比較団体より高水準にあります

給水原価の推移

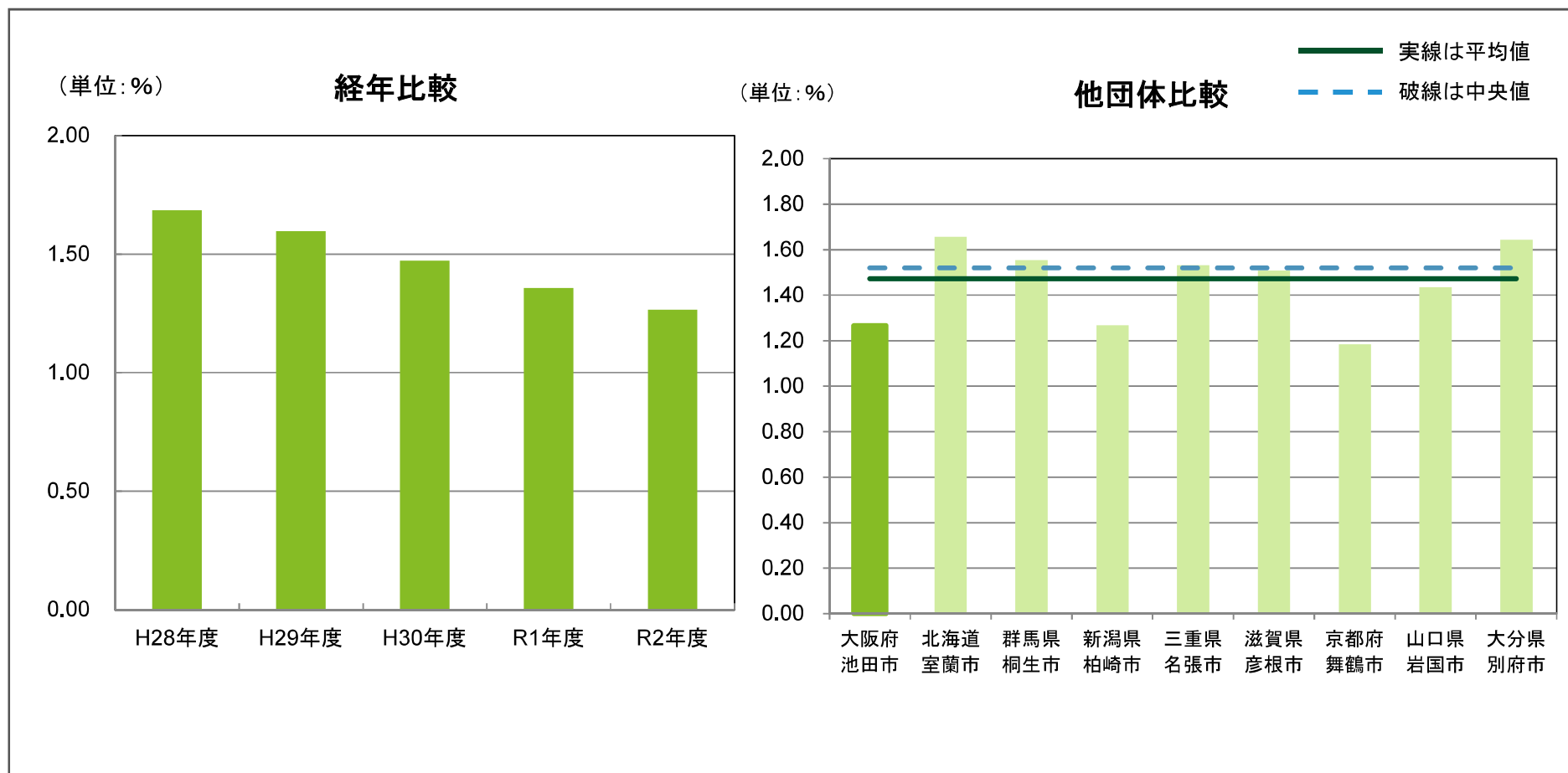
給水原価は有収水量1m³あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標です。令和2年度は、職員給与費や委託料、修繕費等の増加の影響により増加しています。



企業債利息率は低下傾向にあり、比較団体より低い水準です

企業債利息率の推移

企業債利息率は企業債に対する利息の割合であり、費用のうち、固定的に必要な利息がどの程度かかっているかを表す指標です。

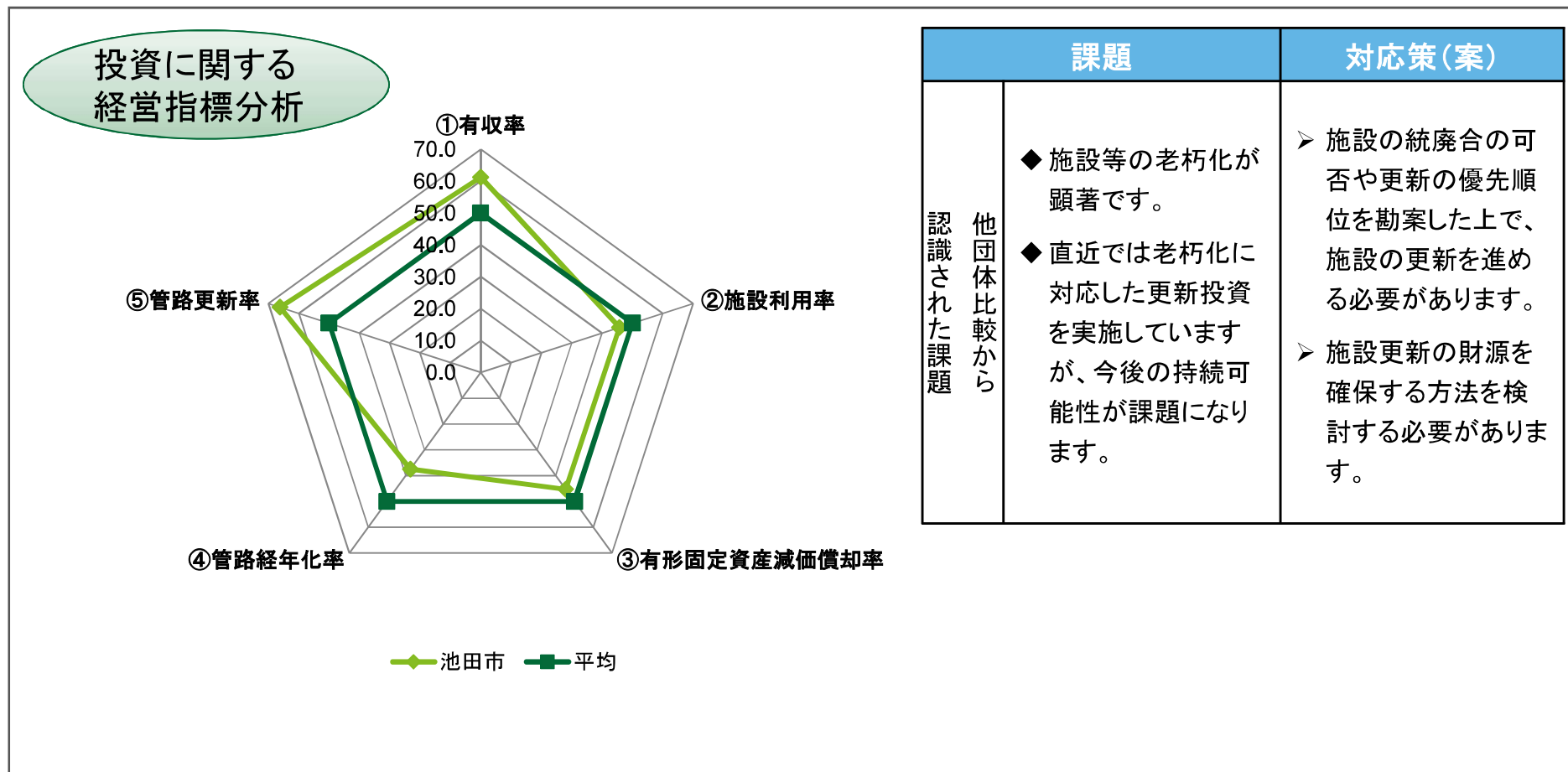


まとめ

施設等の老朽化とその対応が最も重要な課題になります

投資に関する経営指標分析

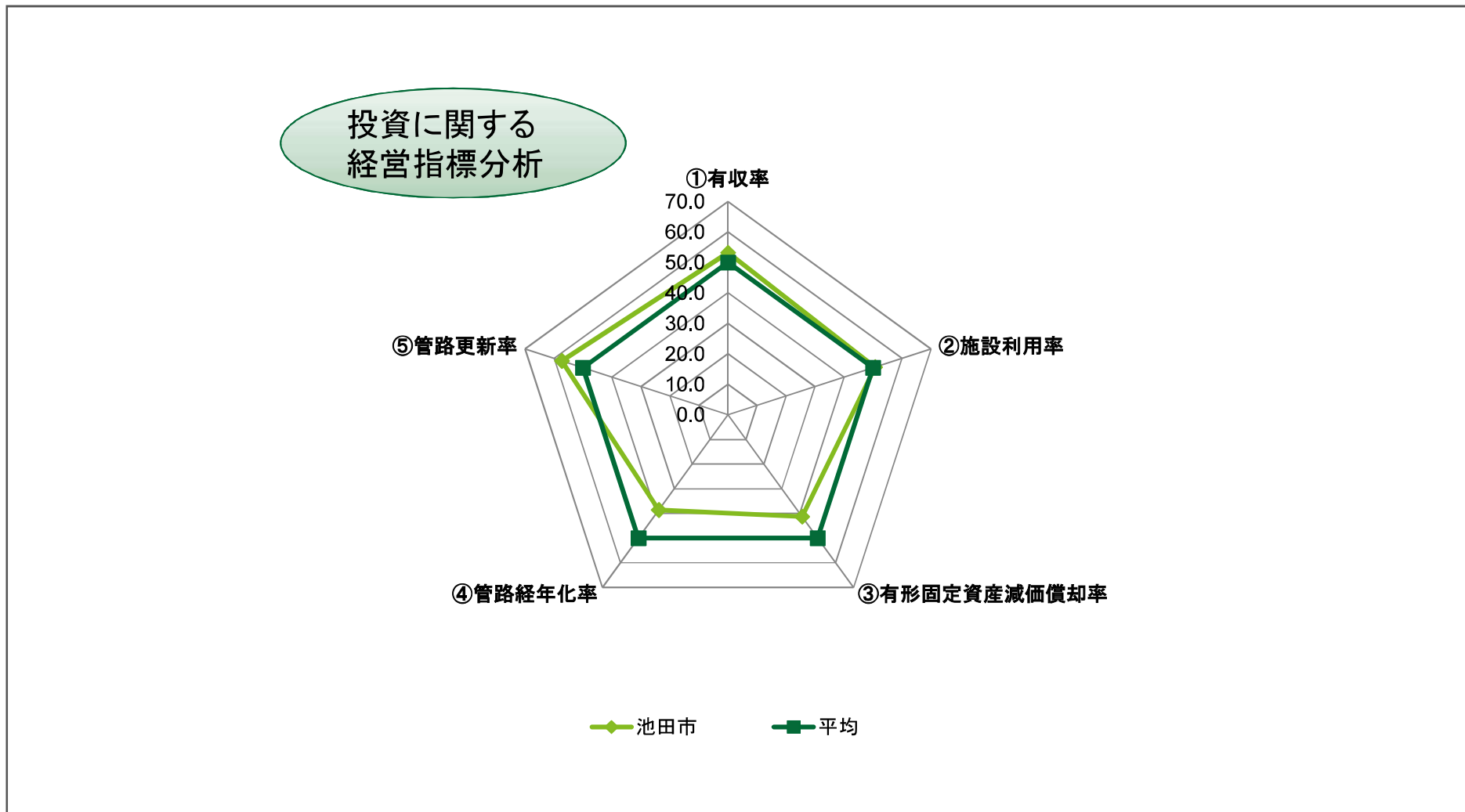
施設の統廃合の可否や優先順位を勘案した施設更新計画を策定するとともにどのように財源を確保するかを検討する必要があります。



課題	対応策(案)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">他団体比較から認識された課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設等の老朽化が顕著です。 ◆ 直近では老朽化に対応した更新投資を実施していますが、今後の持続可能性が課題になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 施設の統廃合の可否や更新の優先順位を勘案した上で、施設の更新を進める必要があります。 ➢ 施設更新の財源を確保する方法を検討する必要があります。

(参考情報)

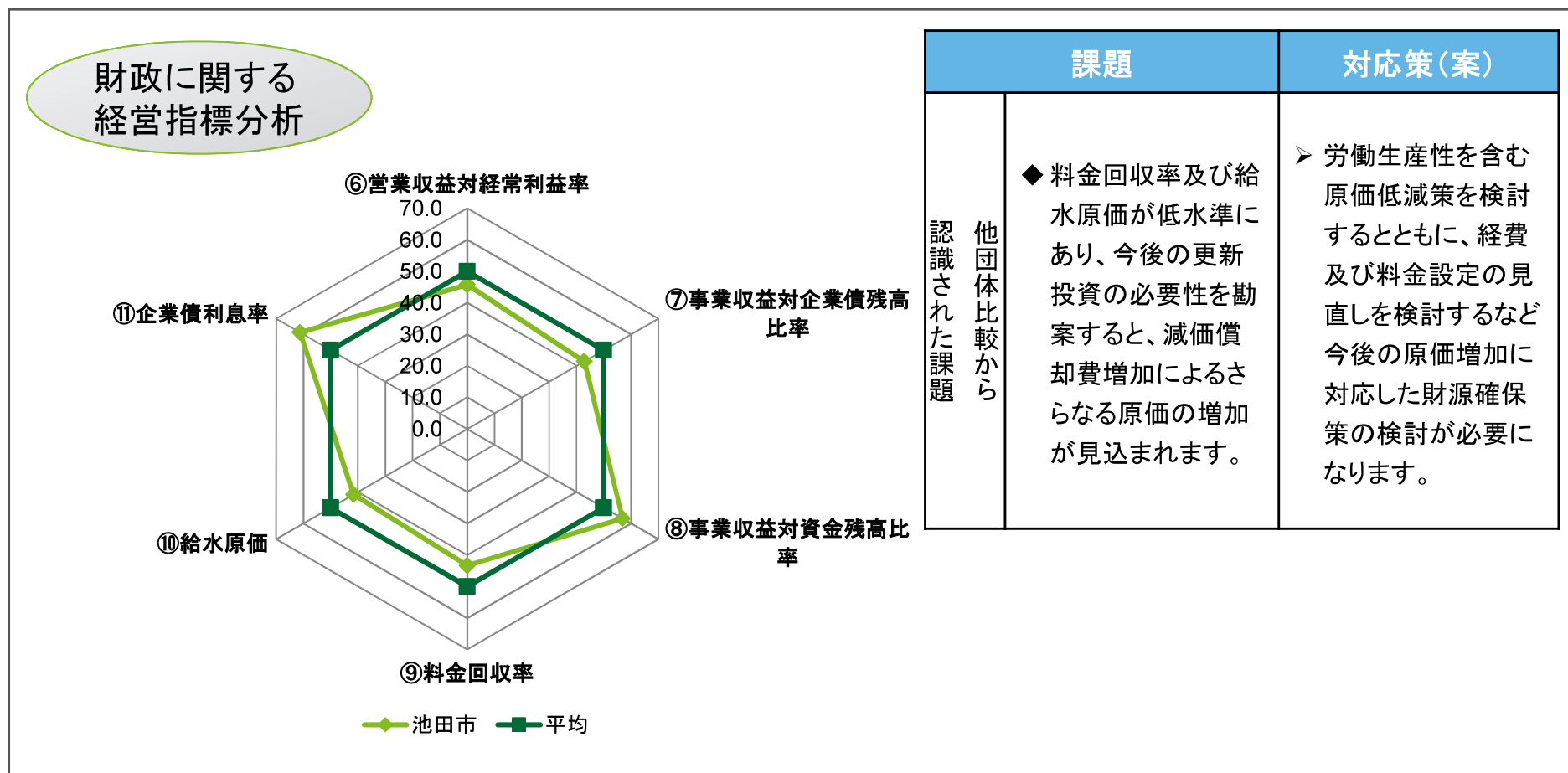
投資に関する経営指標分析(平成26年度データに基づく分析)



料金回収率、給水原価が課題になります

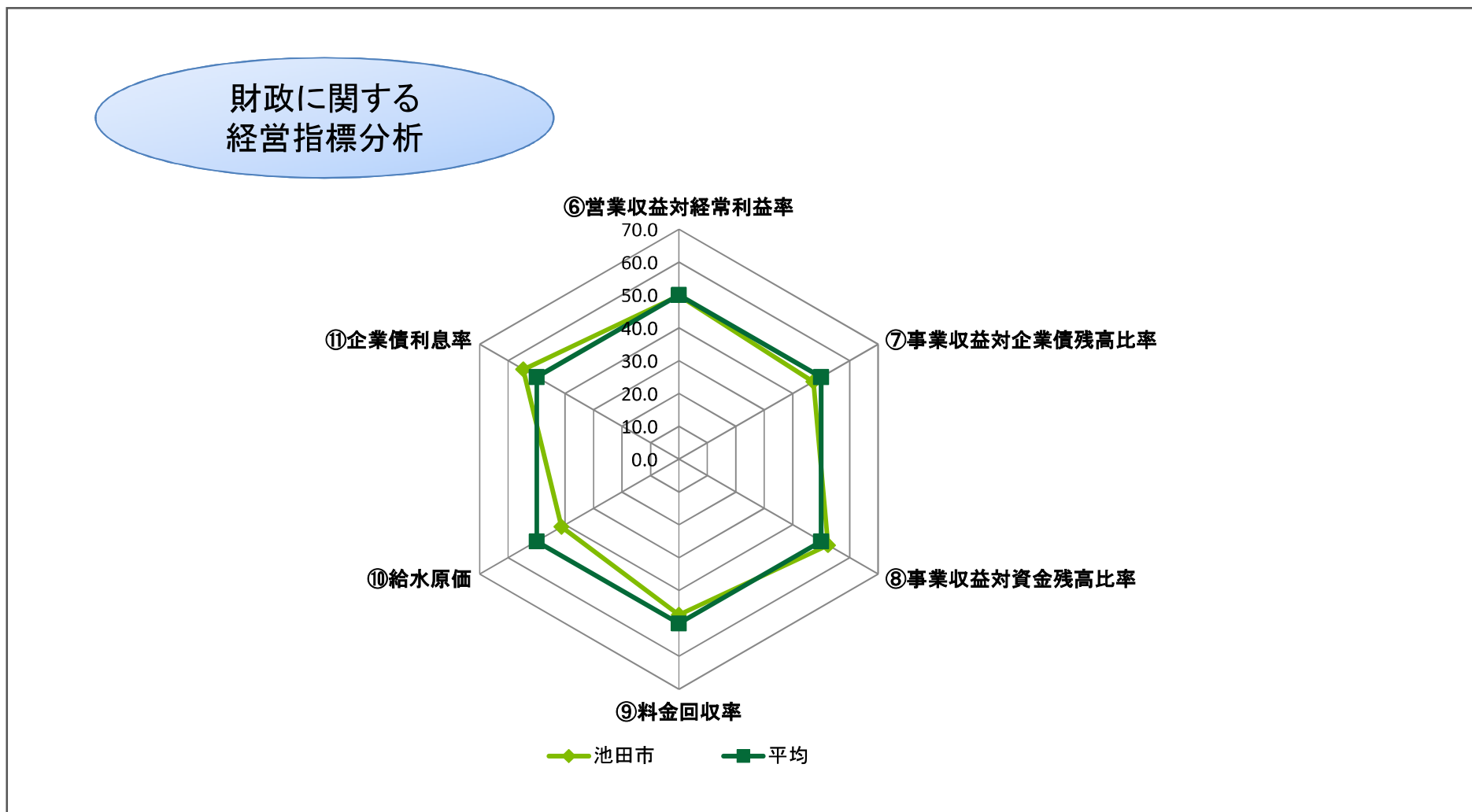
財政に関する経営指標分析

経費及び料金改定を検討するとともに、企業債の発行水準等、財源構成について検討する必要があります。



(参考情報)

財政に関する経営指標分析(平成26年度データに基づく分析)

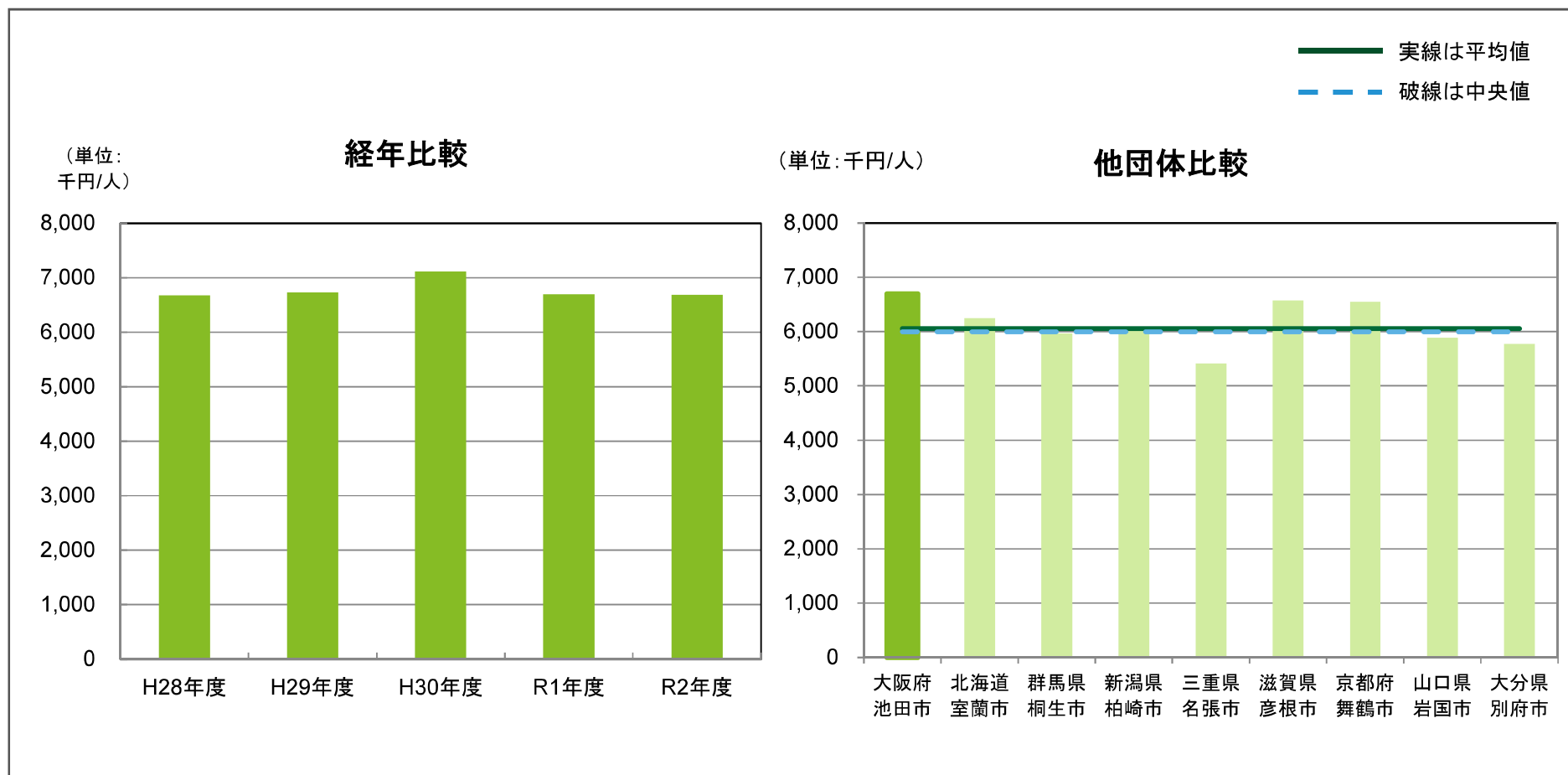


その他の指標

職員一人あたり給与は比較団体よりやや高水準にあります

職員一人あたり給与の推移

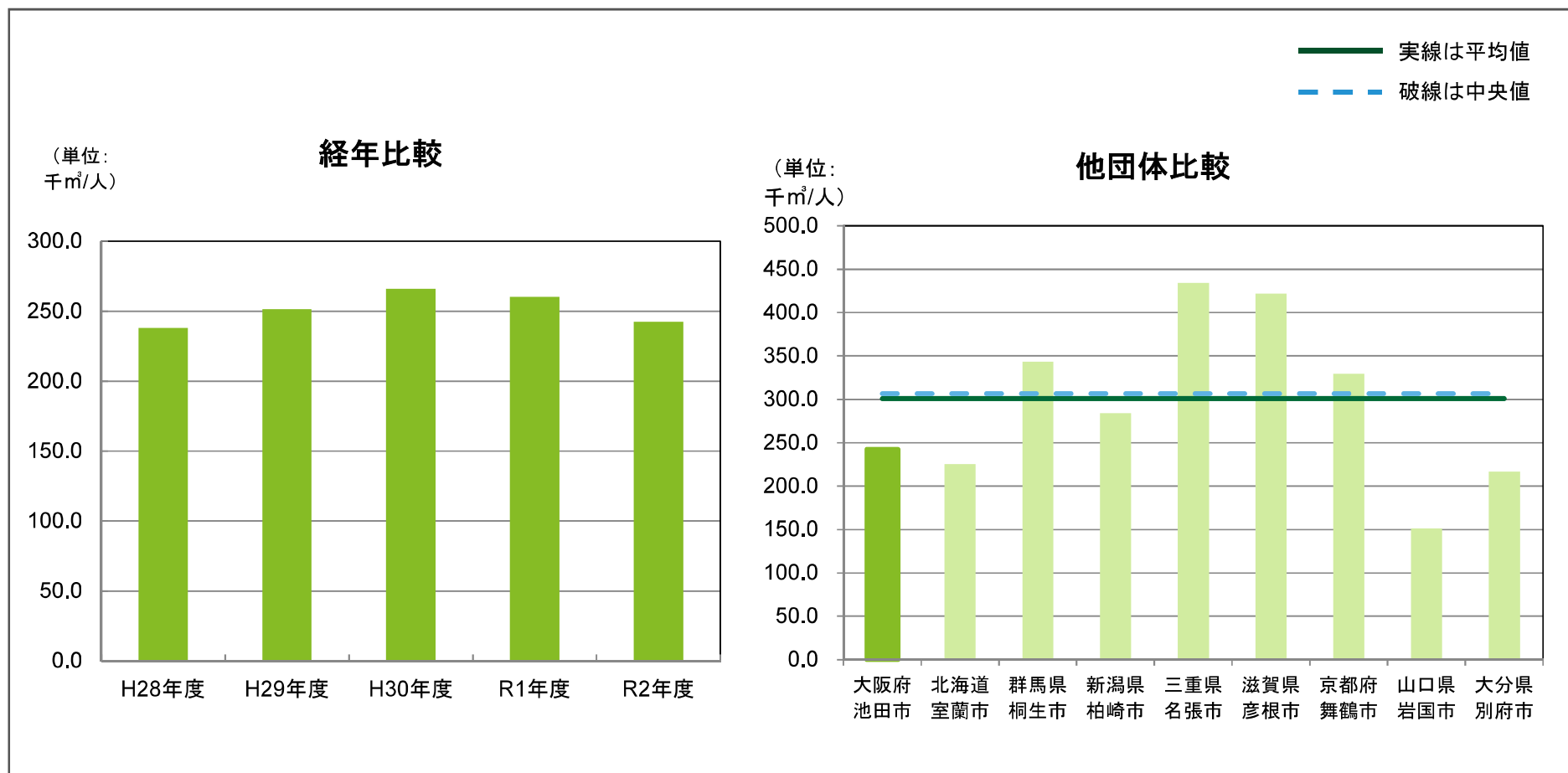
職員一人あたり給与は、給与総額に対する職員数の割合を示す指標であり、職員の給与水準を測ります。



職員一人あたり総配水量は比較団体より低い水準です

職員一人あたり総配水量の推移

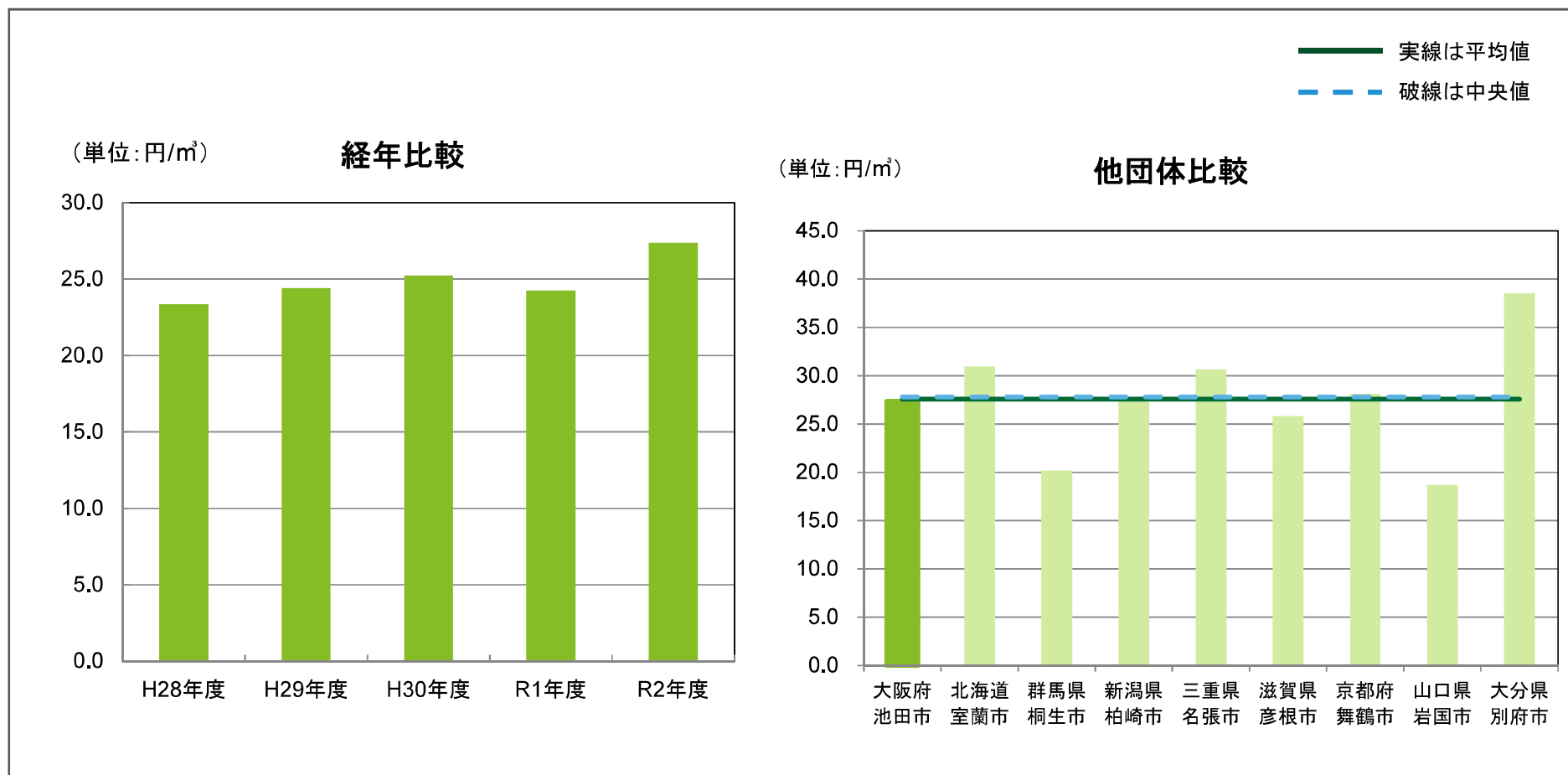
職員一人あたり総配水量は、総配水量に対する職員数の割合を示す指標であり、総配水量について職員数で見た効率性を測ります。



水量あたり委託費は比較団体とほぼ同水準です

水量あたり委託費の推移

水量あたり委託費は、委託費に対する水量の割合を示す指標であり、単位あたりの委託費の水準を測ります。



参考:各団体事業情報

各団体事業情報

事業実施に関連して各団体を取り巻く環境等は次の通りです。

項目	単位	R2年度									
		大阪府 池田市	北海道 室蘭市	群馬県 桐生市	新潟県 柏崎市	三重県 名張市	滋賀県 彦根市	京都府 舞鶴市	山口県 岩国市	大分県 別府市	他団体平均
供用開始年度	(年)	S.13	T. 5	S. 7	S.12	S.39	S.35	S.14	S.14	T. 6	
供用開始後年	(年)	78	101	84	79	52	56	77	77	100	78
給水人口	(人)	103,601	80,697	107,310	85,298	76,969	111,949	79,586	112,173	112,354	95,792
普及率	(%)	100.00	99.90	99.70	99.80	99.60	99.80	99.80	82.90	98.40	97.49
取水能力	(m3/日)	72,000	56,500	103,440	90,910	41,688	57,400	73,773	96,795	71,376	73,985
うち											
ア. ダム以外の表流水	(m3/日)	15,000	56,500	48,000	-	11,016	42,800	72,458	84,118	50,610	52,215
イ. ダム	(m3/日)	31,500	-	44,900	89,100	30,672	-	-	-	6,406	42,770
ウ. 受水	(m3/日)	11,500	-	5,130	-	-	-	-	330	-	2,730
料金(家庭用)											
ア. 基本水量	(m3)	8	-	-	-	10	10	5	-	8	8
イ. 基本料金	(円)	781	1,100	660	803	1,155	1,100	704	440	1,016	872
ウ. 超過料金	(円/m3)	82	16	66	55	127	143	92	33	159	86
エ. 10m ³ 当たり料金(口径13mm)	(円)	1,001	1,562	1,320	1,353	1,155	1,100	1,166	770	1,334	1,220